



寺岡清高

Kiyotaka Teraoka

早稲田大学第一文学部卒業。桐朋学園大学を経てウィーン国立音楽大学指揮科に学ぶ。

1997年イタリア・シエナのキジアーナ音楽院よりフランコ・フェラーラ大賞を受賞し、1年間ロンドン・コヴェントガーデン、ミュンヘン・フィル等で研鑽を重ねる。

2000年ミトロプーロス国際指揮者コンクール優勝。

これまでに数多くの国内オーケストラとともに、フェニーチェ歌劇場管、サンクト・ペテルブルグ・フィル、ウィーン室内管、イギリス室内管を始め、ヨーロッパ各国のオーケストラへ客演している。

大阪交響楽団とは、2004年1月の正指揮者就任以来緊密な関係が続けており、2011年4月から2019年3月まで同楽団常任指揮者を務める。ウィーン在住。亀山市文化大使。

2023年3月公益財団法人伊賀市文化都市協会音楽アドバイザー就任。



©Yuji Ueno

水野優也

Yuya Mizuno

1998年生まれ、東京都出身。

第89回日本音楽コンクール第1位、第13回東京音楽コンクール第1位、第31回青山音楽賞新人賞など、多くの賞を受賞。

ソリストとして東響、東京フィル、日本フィル、読響、大阪響、京響などと共演。ジャパン・ナショナル・オーケストラのコアメンバーとして、奈良を拠点としてのコンサートやアウトリーチ、国内外でのリサイタルや室内楽公演への出演など、活発な演奏活動をしている。

2023年8月、NOVA recordより「水野優也 × 反田恭平 コダイク/無伴奏チェロ・ソナタ&ショパン/チェロ・ソナタ」でCDデビュー。

これまでに倉田澄子、ミクローシュ・ペレーニに師事。

現在、ザルツブルク・モーツァルテウム大学にてクレメンス・ハーゲンのもとで研鑽を積む。使用楽器は、故齋藤秀雄の愛器であったP.A.Testore(1746年製)、弓は住野泰士コレクションよりF.Tourteを貸与されている。

大阪交響楽団

Osaka Symphony Orchestra

1980年「大阪シンフォニカー」として創立。創設者である、永久名誉楽団代表・敷島博子が「聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を！」を提唱。いつも聴衆を“熱く”感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されている。

2001年1月に、楽団名を「大阪シンフォニカー交響楽団」に、2010年4月「大阪交響楽団」に改称した。

2022年4月、新指揮者体制として、山下一史(常任指揮者)、柴田真郁(ミュージックパートナー)、高橋直史(首席客演指揮者)の3名が就任、さらなる楽団の飛躍が期待されている。

2006年4月、大和ハウス工業株式会社 代表取締役会長 CEO(当時)樋口武男氏が運営理事長を経て、

2018年11月公益社団法人大阪交響楽団理事長に就任。

2020年10月に大和ハウス工業株式会社「代表取締役社長/CEO 芳井敬一氏」に理事長をバトンタッチした。

2023年3月、公益財団法人伊賀市文化都市協会、伊賀市と「文化のまちづくり」推進に関する連携協定を締結。

楽団公式ホームページ <https://sym.jp> (2024年5月現在)

©飯島 隆